

平成25年度 檀原市環境審議会会議録

日 時 : 平成26年2月28日(金) 午前10時00分～11時30分

場 所 : 檀原市役所本庁舎4階 第一会議室

出席委員: 久会長、西村委員、上田委員、小西委員、葛井委員、梅本委員、諫原委員

欠席委員: 榎村委員、森本委員、遊津委員

事務局 : 森田生活環境部長、加藤環境保全課長、井上統括調整員、高森主査

議 題 : 檀原市環境総合計画について

【会長】

おはようございます。計画を策定してからは初めての審議会となります。

最近是中国からPM2.5が飛んできて、檀原だけで頑張っても難しいがここからはあまり色々なものが出ないように環境に配慮していければと思っております。

早速ですが、今日は環境総合計画の進み具合の点検の1回目となっておりますが、まずは事務局の方から経緯も含めて説明してもらいたいと思います。

【事務局】

檀原市環境総合計画について

- ・資料1 環境総合計画策定の経緯
- ・資料2 かしはらの環境(環境年次報告書)
- ・資料3 「檀原市環境総合計画」実施状況調査票記入上の留意点について
- ・資料4 施策指標の実施状況
- ・資料5 主要施策の状況
- ・資料6 市民協働プロジェクトについて

上記資料1から6について説明

【会長】

かなり内容がたくさんございましたので、説明が長くなりましたが、ここから意見交換していきたいと思います。先ほどご説明にありましたように、今回は今年度何をしたかどうかという資料が出てますが、最終的にはそれがどんな効果として檀原の環境の指標に反映しているのかということをチェックしていきたいと思います。しかし、残念ながらまだ数値のデータがきちんと出ていないので、出揃った来年度夏くらいには、話をしていきたいと思っています。

ということで、今日のご報告あった内容全部は難しいですが、皆様にご興味ご関心があっ

たところでお話がしたいと思っております。

それから、来年度の夏、今年の夏の評価の時にはこういうようなデータがあればとかこういうような話が聞けたらなというような次回に向けてのご要望などがありましたら、合わせて聞かせていただきたいと思います。ご質問でもご意見でも結構ですが、何かありますか。どのようなことでも結構です。

今回初めて153が横並びになりました。担当課の方でDというのがいくつかありますが、まずこのDを来年度は減らしていくのがポイントかなと思います。私も内容を見させていただきましたが、お金も掛からない啓発類もたくさんありましたので、これを来年度減らせるのではないかなと思いました。それと、市民協働プロジェクトとの関係もありますが、地域協議会のメンバーさんは自らの活動も非常にお忙しい方々ばかりだと思いますので、それプラス色々手伝ってくださる方をどうやって増やしていけるかというところがポイントじゃないかなと思います。

なぜその話を一緒にさせていただいたのかと言いますと、講座やイベントをやった時に参加をされる方々の中から、今度は企画運営の方に回っていただけるようなそういう連携を図っていけば、地域協議会のメンバーさんも手が楽になるのかなと思います。お客様として、イベントとか講座に来ていただくだけではなく、今度は裏方の方にも回っていただけるような呼びかけも、同時にしていただけたらと思います。

あと、いかがでしょうか。

【委員】

自治会の関係の一人として、市政には関心を持っているが、知らないことがいっぱいですね。(資料を見て) これだけやっているのを知りました。

どうすれば一般市民に情報が届くか、自治会の行事などで広報が回ってきますと、関係ないやつは見ないというのが日常ですけど、見なかったら何も伝わってこない。どうやって、普通の我々自治会もなんですが、自治会の分でも関心ない人は伝わらない。関心ある人には伝わるという気持ちで作ったりフォローしたりしてはいますが。

特に募集して何かをやったというものが何団体かあったと思いますが、もう終わっているのもありますね。これはぜひ知ってたかなというのもありました。それらもどうやってら…現状はどういう方法で情報を発信されているのか、それからそれに対してどうした方がという情報の発信の仕方を、聞く側の意見も聞きながらやっていただけましたでしょうか。

もうすぐある施設が完成しますと、地元も含めて色んな活動をしないといけない。そういう時にどのような広報をしていけば良いかということ、やり方もいっぺん聞きたいなと思っております、ここで今、質問する機会がありましたので、あえて質問させていただきます

ました。

情報をどんな風に日頃流しているのか、掻い摘んで聞かせていただきたい。

【事務局】

はい。市役所が情報を皆様方にお知らせする手段としては、まず一つは広報です。常套手段ですけど。それからホームページです。あとは、もっともっと密に情報を周知したい時はチラシを作る。それを広報の折り込みチラシに載せる。それはお金は掛かりますが。

それと、どうしてもこういうようなシンポジウムをやりたい。もっと密に絶対来て欲しいからもっと密に周知したいという時は、1年前の話ですが、橿原市の地球温暖化対策地域協議会という団体をお願いしてそのチラシを手渡しによって団体からお知り合いに対してご案内していただく、それで確実な動員が見込めるような形を取っております。

【委員】

組織を通じて具体的に参加される方に情報を持っていくということですね。

【事務局】

あと自治会様には回覧のお願いということをやっております。

あとは、市の事業の太陽光補助金制度につきましては地区公民館においてポスターの掲示もお願いする場合があります。

【会長】

チラシなどはイベントの時は配ってらっしゃるんでしょうか？

【事務局】

はい。イベントの時はチラシを別途作って、幼稚園や小学校配っていただく。1万枚くらい作るのですが、幼稚園や小学校を通じて園児や小学生の皆様方に持って帰っていただき、親と一緒に来ていただくということにしております。

【会長】

イベントの告知ではなくて、イベントの時に補助金の情報とか、別の環境の情報をお渡ししているかということです。せっかく、環境の意識の高い方が来ていただいているのに。その方々へもう少し情報提供を集中的にやったらどうかなと思います。

【事務局】

積極的にはやってないです。例えば環境保全課で太陽光パネルの補助金があるというのは、環境イベントの時にはやっていなかったです。

【会長】

何を見てイベントや申請に来られましたかっという調査をしていますか？例えば補助金を貰いに来られた方は、何から情報を得られましたか？と

【事務局】

やってないです。

【会長】

そこはまずやった方が良いでしょう。そうすると、何が一番（広報として）効くかというの分かるでしょ。

私事になりますが、大学も最近学生減ってきてますので、なんとか受験生を増やさないといけないということで必死になっております。少し市役所の方には失礼ですが、それと比べるとちょっと必死さが足りないと思います。補助金を本当に貰って欲しいと思っているのかなど。ということです。

ある市役所で会議をしている時に、市民の方がおっしゃたのは「市役所が困る。これを伝わらなかったら市役所が困る時は必死になって情報を流すが、そうでもない時は、広報に載せましたとかホームページに載せましたということで終わってませんか。具体的に環境の話とゴミの分別収集の時は、協力してもらわないと市役所が困るので、そうすると説明会を何度もやったりとかで必死になっているんですけど、補助金は受け取っても受け取らなくても良いからということになってしまうので、情報提供の仕方がおろそかになってしまうような傾向はありませんか？」という市民のお声がありました。

ちょっとね、梅本委員の方からもっと色々効果的な情報提供のやり方という話がありましたので、もう少し来年度以降検討していただけたらなと思います。

あまり何でもかんでも撒いても効果ないと思います。やはり集中的に効果のあるところに情報をお渡しするのが一番効果的なのではないかと思います。

はい、よろしいでしょうか。

他いかがでしょうか。

【委員】

さきほど先生がおっしゃられていたように、やはり地域住民を巻き込むというのが、一番大変な仕事だと思います。私も他のことでボランティアをさせてもらっているが、市の職員は数もしれているし、仕事もたくさん抱えておられるので、きめ細かいことというのは、なかなかできないと思います。その中に、市民と市役所の間にコーディネータ的な人をもう少し増やしておくというのはすごく大事だと思います。自治会でも、熱心な自治会の方であれば、住民の方にもすごく情報提供してもらったりするが、なかなかその辺が一律に

いけないこともあります。環境であれば、環境の講座を色々開かれいるので、そこに参加されている方から人材育成という形で、この方ならやっていただけるのではないかという方を、市役所の方からコーディネータ的なことで、もう一つ専門的なことをしていただく方を養成していただいて、それで各地域で活動していただくというような橋渡しを市役所でしてもらえたら、もう少し情報の広がりも出てくるのではないかと思います。

例えば、私は市内に住んでいるのですが、金橋小学校に大きな太陽光パネルが設置されていることも、全く知らなかったんです。車で走っていて、親戚の子が「あれ何？」と気づいて、「榎原市凄い。あんなことしているの？」と言ってました。住んでいる者が知らないこともあるので、こういうことをしてますよというようなことや、金橋小学校でこれだけの発電力があつたことや、売っている分もあるのであればそういうことも含めて、どういうことをして、こういう実績や節約がありましたというような情報があれば、市民からすれば、税金を有効に使われていることが分かるので、そういうのも広報の仕方もあるのではないかと思います。

広報と人材育成というのは、大事だと思います。

私自身、ボランティアさせてもらっていて一番思うのが、コーディネータです。

ボランティアは増えていかないです。知らない人が多くて、伝わらないことが多いので、やはりコーディネータが地域に居れば住民を集めやすい。ボランティアもある程度ルールがあるので、そのコーディネータを通じて伝えてもらえればスムーズにいくと思います。例えばボランティアに来られても電車賃も出ないと言われる方もいらっしゃるもので、そういうのではないということや、あとは情報の保護。ボランティアをしたことで知り得た個人情報について言いふらされたりするのも困るので、そういうことをきちっと抑えてもらうのでは、市役所だけでは無理になっていると思いますので、地域で活動していただけるような人の人材育成が一番大切なのではないかと思います。

【会長】

先ほど委員がおっしゃっていただいた話もそうだと思いますけど、もう一つポイントがあります。コーディネータは活動やりながらコーディネートするのはしんどいです。地域協議会のメンバーさん、そしてその方々が率いておられる団体のメンバーさん。活動をした方はいっぱいいらっしゃいます。しかし、活動はしないけども人を繋いだり、情報提供をしたりすることに専念できる人がいた方が良いでしょうね。でも、そういう方々というのは、募集をかけるという機会もないのです。環境活動はしなくても良いが、そういうコーディネータになってくださいとか、ホームページを作ってくださいとか、そういう周辺の作業をしてもらうという人を募集していただいた方が良いでしょうのではないかと思います。

その辺りもまた、検討いただければと思います。よく居られるのは、退職をされてなかなかすることがないというなかで、会社では総務をされていた方。総務のような役割が本当は必要です。総務は事務作業なので、地域でボランティアというところに少し距離を感じ

られたりするわけですが、各組織や団体さんは総務の仕事を引き受けてもらったら、今やっている活動に専念できるわけです。そういう役割分担をしてほしいわけです。

【事務局】

委員のご意見ありましたとおり、市のイベントというのは、参加をしてもらって満足している所がありますので、次のステップとしては人材育成ということでしていくと、市役所の人間が出て行くことは可能ではあるが、人材が少ないので、やはり専門的な知識を持っている方がそういうお教えいただく方、わりとどんなことにもどんな参加していただける方たくさんいますので、そんな方を見つけて、次の人材育成のような講座、環境に特化しますが、そういう形でして、そういう方が地元で広めていただく。そうすれば市の負担も少し楽になるし、広がるという意味でもなっていくので、そういうことは次のステップとして考えていきたいと、出来るだけ早く進めていきたいなと考えています。

あと、先ほど言われた金橋小学校の太陽光発電とかまだ市内の中には、正直私たち環境部門でも情報が知らないことがたくさんありますので、色んな分野で今回調査もさせていただきまして、梅本会長も言っていたように、こんなことやっているのかと正直、初めて知ったこともあります。そういったこともホームページ等で環境に拘らず色んなことを載せていけたらと思います。環境発信という意味でもこの中でうたっておりますので、ホームページとか媒体は限られますが色んなことを探しまして、先ほど久会長おっしゃられたように、同じチラシでも違った話を載せていくとか、そんな形で色んな形で周知を次年度以降速やかに図っていききたいなと思います。

【会長】

はい、ありがとうございます。

今年度の評価も環境情報のところが手薄かなと思いましたので、そこを26年度頑張っていたらと思います。

【委員】

コーディネータという話が出ましたが、私も昨年度の年末から小学校へ登校時に見守り隊ということで、自治会のコーディネータがいらっしゃる会に初めて参加させてもらって、学校長からの要請があってその会に出させてもらいました。膳夫という地区が、やはり環境問題に限らず、小学校区の中にはそういうコーディネータをされる方がいらっしゃって、それをされる方と初めて接触し、他の地域の学区ではたくさんの方にお会いし、そのコーディネータの方たちの活躍の元に、私たちが活動しているボランティア団体の有力なスタッフであり、情報の発信が共有できる。そして、檀原全体の中での組織の役割を担っている方がいらっしゃるの、新たに発掘というよりは、そういった方々に環境問題についてのお話も投げかけていけば、当然子どもたちの安全の見回り、自治会の連合会とか役をや

っている方々ですから、そういう活動があるのかと認識していただけるのではないかと思います。ですから、新たに発掘というよりは、今いらっしゃる方々を有効に活用するべく、市として対応を依頼すれば、十分可能でありますし、逆に私達が活動していることも知っているコーディネータの方も多数いらっしゃいます。ただ、情報としてコミュニケーションとして、色々こういった活動しているということを、共有する場がないので、そういった場を設けることができれば、より強固な人の繋がりが地域ごとにできますし、環境に対する関心もずっと高まるのではないかと思います。

【会長】

ありがとうございます。

別の言い方をすれば、社会に無関心の方は何をしても、なかなか振り向いてくれないが、他の分野や他の活動に関心の高い方に環境の情報を差し上げて、環境にも目を向けてくださいという方が、効果的かなという話ですね。もっと具体的に言いますと、子育てサークルはいくつもあるので、そういうところに出かけて行っていただき「5分ください。環境の話聞いてもらえませんか」と言ってみるなども一つ考えられる話ですね。地域活動の方、他分野で頑張ってる方、そういった所に触手を伸ばすということも考えられます。

あといかがですか。

よろしいですか。

それではまた、先ほどから何度かお話していますように、8月くらいにもう一度きちんとしたデータ見ながらお話しをさせていただく機会を持ちたいと思いますので、今日は153個をまずはご説明いただいたというレベルだと思いますが、またしっかりと見ていただいて、8月に色々ご意見賜りたいと思います。

それでは、最後にその他ということで、皆様から何かございますか。

ないようでしたら事務局の方から、来年度の予定も含めて発表してください。

【事務局】

先ほど会長からもありましたが、来年度の環境審議会ですが、市が全事業に対しておこなっている事務事業が600～700くらいあります。その事務事業評価が終了するのが夏頃になりますので、できましたらその後に環境審議会を開催致しまして、ご審議していただきたいと思います。夏頃に平成26年度の環境審議会を開催のご案内を差し上げますので、よろしくお願いします。

【会長】

ということで、また時期が来ましたら日程調整させていただいて審議会を開催させていただきます。

できればと思います。

それでは、これで一応案件は終了させていただきましたので、事務局の方にお返しします
のでよろしくお願いします。

【事務局】

皆様、今日はお忙しい中、ご出席いただいて長時間に渡るご審議ありがとうございました。
様々なご意見を伺いまして今後とも、先ほど会長の方からも D 評価という部分についても
出来る限り26年度で減らしていくようにという部分、まだまだ不十分ではございます。
今後ともこの環境基本計画に基づいて、豊かで美しい自然環境と歴史が織り成す魅力あふ
れる檀原を目指して取り組んでいきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。